

ドリルアップ国語2年の特長と使い方

はじめに

このドリルアップ国語は、中学2年で学習する国語の知識事項のドリルとして使用していただくことを目的として編集されたものです。

漢字・語句・文法の知識は国語の力の基礎となるもので、何度も繰り返し練習しなければ身につきません。このドリルアップ国語を計画的に活用していただくことで、国語の知識は万全のものになることと信じます。

特長と使い方

1 各回の構成……各回とも、表面に漢字の読み書き、裏面に語句・文法などの知識に関する問題が収めてあります。各回とも一〇〇点満点の配点付きで、理解度のチェックが容易にできるようになっていきます。左の目録で示した単元名は、裏面の知識事項の単元名です。

2 全体の構成……漢字の読み書きは、中学2年で学習する漢字を中心に出题されています。また、裏面では、2年で学習する語句・文法の知識に加えて、古典を読むときに必要とされる知識もとりあげ、国語の学習において覚えるべきことがこの一冊でマスターできるようにになっています。

3 使い方……計画をたてて少しずつこなしていく以外に、学年の後半に集中的にとりくんで、学年のまとめとする使い方もあります。

目録

1	中学1年の復習(1)	1	17	漢語の組み立て(2)	33
2	中学1年の復習(2)	3	18	自立語のまとめ(1)	35
3	中学1年の復習(3)	5	19	自立語のまとめ(2)	37
4	体言	7	20	古典の基礎(1)	39
5	用言(1)	9	21	古典の基礎(2)	41
6	用言(2)	11	22	助動詞(1)	43
7	用言(3)	13	23	助動詞(2)	45
8	漢字の組み立て	15	24	助動詞(3)	47
9	副詞・連体詞・接続詞・感動詞(1)	17	25	同音異義語・同訓異字 類義語・対義語	49
10	副詞・連体詞・接続詞・感動詞(2)	19	26	助詞(1)	51
11	副詞・連体詞・接続詞・感動詞(3)	21	27	助詞(2)	53
12	慣用句・ことわざ(1)	23	28	助詞(3)	55
13	慣用句・ことわざ(2)	25	29	敬語の知識	57
14	漢字の音訓(1)	27	30	中学2年までのまとめ(1)	59
15	漢字の音訓(2)	29	31	中学2年までのまとめ(2)	61
16	漢語の組み立て(1)	31	32	中学2年までのまとめ(3)	63

7

用言(3)

氏名

得点

1 次の——線の読みがなを書きなさい。 各1点

2 次の——線を漢字に直しなさい。 各1点

- (1) 唐突に話し出す。 ()
- (2) 誤りを訂正する。 ()
- (3) 釣果を競う。 ()
- (4) 慌てて外へ飛び出す。 ()
- (5) 川の水が濁る。 ()
- (6) 天ぶらを揚げる。 ()
- (7) 大きな岩を砕く。 ()
- (8) 帽子をかぶる。 ()
- (9) 悪い癖を治す。 ()
- (10) 自分の流儀で行う。 ()
- (11) 荷物を紙袋に入れる。 ()
- (12) 不吉な予感がする。 ()
- (13) 囲炉裏をかこむ。 ()
- (14) 大きな岩の塊。 ()
- (15) 煙が目にしみる。 ()
- (16) 父は冗談ばかり言う。 ()
- (17) 借りた本を返戻する。 ()
- (18) 松の木に登る。 ()
- (19) 夏を惜しむ。 ()
- (20) 偉い人に面会する。 ()
- (21) 国境を越える。 ()
- (22) 何かの焦げる臭いがする。 ()
- (23) 本音を吐く。 ()
- (24) 尋常ではない様子を見せる。 ()
- (25) 組織が分裂する。 ()

- (1) できばえをクラべる。 ()
- (2) シソンの繁栄をはかる。 ()
- (3) 足場をコウチクする。 ()
- (4) 熱をホウシャする。 ()
- (5) キントウに分ける。 ()
- (6) 家ちくをシイクする。 ()
- (7) チエを働かす。 ()
- (8) すばやくタイシヨする。 ()
- (9) ミズベにすむ動物。 ()
- (10) エモノをとらえる。 ()
- (11) 植物のブンブを調べる。 ()
- (12) カフンが風に舞う。 ()
- (13) まりもがコテイに沈む。 ()
- (14) ボウを振り回す。 ()
- (15) 図書館で本をサガす。 ()
- (16) 絵をエガク。 ()
- (17) 体をアタめる。 ()
- (18) 水がジョウハツする。 ()
- (19) 収量がゲキゲンする。 ()
- (20) 古代の文字をカイドクする。 ()
- (21) 種子がハツガする。 ()
- (22) 誤りをシテキする。 ()
- (23) イジョウ気象が続く。 ()
- (24) 所得がバイゾウする。 ()
- (25) 資料をブンセキする。 ()

3

次の——線部の動詞の活用の種類を、それぞれ例にならって答えなさい。
 (例) 毎日雨が降る。 ↓ ラ行五段活用

- (1) 自分の意見をはつきり言う。
- (2) わからなければ、教えてあげよう。
- (3) 練習をすればするほど、力がつく。
- (4) 彼の話をしつくり聞こう。
- (5) 父はもうすぐ来ます。
- (6) 私は、テレビはあまり見ない。
- (7) もう遅いから、早く寝る。
- (8) 一年間に十センチも身長が伸びた。

〈各2点〉

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

4

次の——線部の用言の種類と活用形を、それぞれ例にならって答えなさい。
 (例) 桜が咲いた。 ↓ 動詞・連用形

- (1) 部屋をきれいに掃除する。
- (2) もっと大きな声を出せ。
- (3) 寒いから、窓を閉めてくれないか。
- (4) 歩きながら、ものを食べるな。
- (5) 行くのがいやなら、行かなくてもよい。
- (6) どんなにきつかりうと、最後までがんばる。
- (7) 彼女はとても明るい性格です。
- (8) 素直なのが彼のとりえだ。
- (9) 済んだことは、もう忘れろよ。
- (10) 今日は楽しゅうございました。
- (11) あまり急だから、びっくりした。
- (12) きみさえよければ、ぼくはかまわない。

〈完答各2点〉

(10)	(7)	(4)	(1)
(11)	(8)	(5)	(2)
(12)	(9)	(6)	(3)

5

次の各組の①・②が対応するように、それぞれ

- (1) ① 水 () (流れる。)
- ② ① 水を () ()。
- (3) ① 子供が () (育てる。)
- ② ① 子供 () ()。
- (5) ① 洗濯もの () (乾く。)
- ② ① 洗濯ものを () ()。

()に適切な語を書き入れなさい。

〈完答各1点〉

- (2) ① 姿が () ()。
- ② ① 姿 () (変える。)
- (4) ① クラスの意見 () (まとまる。)
- ② ① クラスの意見を () ()。

6

次の——線部の単語は、A形式動詞、B形式形容詞のどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。

〈各1点〉

- (1) 仕事を手伝ってほしいのですが。
- (2) 先生に相談してみる。
- (3) 季節はずれの桜が咲いている。
- (4) 彼は有名な作家である。
- (5) この小説はあまりおもしろくない。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

8

漢字の組み立て

氏名

得点

100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。 各1点

- (1) 食卓に向かう。 ()
- (2) 無償で援助する。 ()
- (3) 悲しみのあまり絶叫する。 ()
- (4) かさの滴をはらう。 ()
- (5) 銀の含有量を調べる。 ()
- (6) 資金が潤沢にある。 ()
- (7) 舞踊を習う。 ()
- (8) 砂糖が水に溶ける。 ()
- (9) グランドに土を盛る。 ()
- (10) うさが跳ねる。 ()
- (11) しっかりと手を握る。 ()
- (12) 著しい成長を示す。 ()
- (13) 精進料理を食べる。 ()
- (14) 原稿を書く。 ()
- (15) 花壇に花を植える。 ()
- (16) ひもで天井につる。 ()
- (17) 良縁にめぐまれる。 ()
- (18) 波及効果を調べる。 ()
- (19) 景気が衰退する。 ()
- (20) 国家が減亡する。 ()
- (21) 猫の首に鈴をつける。 ()
- (22) 水が汚れる。 ()
- (23) 氷河が地表を覆う。 ()
- (24) 生糸の生産地。 ()
- (25) 子供の将来を気に病む。 ()

2 次の——線を漢字に直しなさい。 各1点

- (1) 発言のイトをさぐる。 ()
- (2) 失敗のヨウインを挙げる。 ()
- (3) ゼツピツとなった作家の作品。 ()
- (4) 腕前をジマンする。 ()
- (5) トクシユな技術を持つ。 ()
- (6) 毎日、ヒデリが続く。 ()
- (7) オソろしい思いをする。 ()
- (8) あやまってくぎをフむ。 ()
- (9) 古代文明のサカえた地。 ()
- (10) 家計をササえる。 ()
- (11) カダイに評価する。 ()
- (12) 努力がトロウに帰す。 ()
- (13) チュウシヨウテキナ話。 ()
- (14) 多くの人々がレンタイする。 ()
- (15) ここは交通のベンがよい。 ()
- (16) ホジョいすに座る。 ()
- (17) ヨウリヨウよく仕事をする。 ()
- (18) 事物のメイシヨウを表す。 ()
- (19) 裏切りのコウイ。 ()
- (20) ゾウサもなくやりとげる。 ()
- (21) いすにコシをおろす。 ()
- (22) よくニた顔をしている。 ()
- (23) 毎日、十時にはネる。 ()
- (24) カンカクを開けて歩く。 ()
- (25) 雨で道路がスندگانされる。 ()

③ 次の(1)～(6)は、それぞれ二つの漢字をいくつかの部分に分け、同じ大きさにして並べかえてあります。下の点線で示した部分を参考に組み合わせ、それぞれ熟語を完成させなさい。

(例) 日言月正 ↓ 言正
日 月 ↓ 証明

(1) 頁岡令糸 ↓	(2) 心安田木 ↓
(3) 道秀寸言 ↓	(4) 口取未走 ↓
(5) 木青門争 ↓	(6) 力穴工木口 ↓

④ 次の□に共通する字を補い、それぞれ熟語を完成させなさい。

(6) (例) 出□ □ ↓	(7) 出□ □ ↓	(8) □直 □ ↓	(9) □論 □ ↓	(10) 怒□ □ ↓
明□ □ ↓	明月 □ □ ↓	□才 □ ↓	□根 □ ↓	昔□ □ ↓

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)

⑤ 次の各見出しのカタカナをそれぞれ適切な漢字に直して、熟語を完成させなさい。

(1) ハク ①	手
(2) テキ ①	任
(3) セイ ①	潔
(4) ソ ①	先
(5) ケン ①	保
②	力
②	指
②	快
②	止
③	停
③	宿
③	密
③	税
④	画
④	水
④	求
④	雑
④	実

⑥ 次の漢字の部首を抜き出し、その部首名をあとから選んで記号で答えなさい。

- (1) 際 (2) 空 (3) 欧 (4) 恩 (5) 段 (6) 医 (7) 難
- ア うかんむり イ ふるとり ウ したごころ エ かくしがまえ オ あくび
カ こぎとへん キ おおざと ク あなかんむり ケ のぶん コ るまた

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
	(4)

〈両方できて各2点〉

〈各1点〉

〈各1点〉

〈各1点〉

11

副詞・連体詞・接続詞・感動詞(3)

氏名

得点

100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。〈各1点〉

2 次の——線を漢字に直しなさい。〈各1点〉

- (1) 近郷から人々が集まる。 ()
- (2) 壮大な計画を練る。 ()
- (3) 吉日を選ぶ。 ()
- (4) 悪癖が身につく。 ()
- (5) 記録に挑戦する。 ()
- (6) 悔いが残る。 ()
- (7) 布を裂く。 ()
- (8) 働いて稼ぐ。 ()
- (9) 例外措置を設ける。 ()
- (10) 奇抜なアイデア。 ()
- (11) 謙虚にふるまう。 ()
- (12) いねの穂が出そう。 ()
- (13) まだ宵の口だ。 ()
- (14) 国旗を掲揚する。 ()
- (15) 人知を超越する。 ()
- (16) 黒煙があがる。 ()
- (17) 偉大な業績をあげる。 ()
- (18) 焦慮の念を覚える。 ()
- (19) 団塊の世代。 ()
- (20) 心の悩みを打ち明ける。 ()
- (21) 大声を出して怒る。 ()
- (22) 刃先がかける。 ()
- (23) 殿様を警護する。 ()
- (24) 心情を吐露する。 ()
- (25) 環境を破壊する。 ()

- (1) 技術をシュウトクする。 ()
- (2) 毎日、モウシヨが続く。 ()
- (3) ミチバタに座りこむ。 ()
- (4) しばらくルスにする。 ()
- (5) ルイは友を呼ぶ。 ()
- (6) メイシを差し出す。 ()
- (7) ノブトい声で話す。 ()
- (8) ニガワライを浮かべる。 ()
- (9) テアラにあつかう。 ()
- (10) 家族をヤシナう。 ()
- (11) 話に水をサす。 ()
- (12) スグれた作品を残す。 ()
- (13) 技術カクシンが進む。 ()
- (14) シャクドが異なる。 ()
- (15) 詩をロウドクする。 ()
- (16) シンアイの情を表す。 ()
- (17) 実力をハッキする。 ()
- (18) 彼はヒトガラがよい。 ()
- (19) ゴミをカイシユウする。 ()
- (20) 鉛筆をケズる。 ()
- (21) 庭をほんやりナガめる。 ()
- (22) 心アタタまる話。 ()
- (23) ジドウ公園で遊ぶ。 ()
- (24) 甘いユウワクに乗る。 ()
- (25) 彼は班長にテキニンだ。 ()

③ 次の各組の——線部の語句のうち、副詞はどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。 <各2点>

(1) ア もう少し静かにしてください。
イ 先生なら、すぐに来ます。

(2) ア しばらく映画を見ていない。
イ 船酔いしたのか、気分が悪くなった。

(3) ア まさに動物的な身のこなしだ。
イ そんなに騒いではいけない。

(4) ア 彼は誠実で親切な男だ。
イ まるで夢のような話だ。

④ 次の各組の——線部の語句のうち、連体詞はどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。 <各2点>

(1) ア 大きな魚を釣り上げる。
イ うわさが大きくなる。

(2) ア これは、だれのかばんですか。
イ このかばんは、だれのですか。

(3) ア 選手のとんだ距離を測る。
イ 彼のおかげでとんだ目にあう。

(4) ア これは、ある土地で聞いた不思議な話だ。
イ 時間は、まだたくさんある。

⑤ 次の各組の——線部の語句のうち、接続詞はどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。 <各2点>

(1) ア 朝寝坊したので、また遅刻してしまった。
イ 都会も好きだし、また田舎も好きだ。

(2) ア そろって駅まで来て、そこで解散した。
イ 厄介な問題が起きた。そこで、父に相談した。

(3) ア 風邪ぎみだった。それで悪寒おかんがしたのだ。
イ 万年筆を買い、早速それで手紙を書いた。

(4) ア 係員の指示にしたがって、一列に並ぶ。
イ 彼も人間だ。したがって、まちがうこともある。

⑥ 次の各組の——線部の語句のうち、感動詞はどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。 <各2点>

(1) ア もし彼が来なかったら、どうしよう。
イ もし、その人、どうしたんですか。

(2) ア ちよつと君、それはずうずうしいんじゃない。
イ 疲れたから、この辺りでちよつと休もう。

(3) ア どれ、ちよつと見せてごらん。
イ 君がかいた絵はどれですか。

(4) ア 彼みたいにほらばかり吹く人間も珍しい。
イ ほら、空ににじが出るよ。

(5) ア あれ、今日は何曜日だったかな。
イ あれ、実は母の代筆なんです。

(6) ア この調子なら、まあ何とかなるだろう。
イ まあ、なんてきれいな夕焼けなんでしょう。

⑦ 次の各文の——線部の品詞の種類をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 <各2点>

(1) 車で行けば、ほんのわずかな時間です。 (2) もしもし、山田さんのお宅ですか。

(3) たとえ一人になっても、最後までがんばる。 (4) 祖父の病気がすっかりよくなった。

(5) かすり傷程度だから、たいしたことはない。 (6) ところで、今日は何日ですか。

(7) やい、そんなところで何をしているんだ。

ア 副詞
イ 連体詞
ウ 接続詞
エ 感動詞

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	

12

慣用句・ことわざ(1)

氏名

得点

100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。 各1点

2 次の——線を漢字に直しなさい。 各1点

- (1) 修行を積む。 ()
- (2) 声高に話す。 ()
- (3) 歩合で計算する。 ()
- (4) 極意を伝授する。 ()
- (5) 安物買いの銭失い。 ()
- (6) かきの実が熟れる。 ()
- (7) それは否めない事実だ。 ()
- (8) 伺いをたてる。 ()
- (9) 軽業をひろうする。 ()
- (10) 生活が困窮する。 ()
- (11) 卵の殻を割る。 ()
- (12) 面を上げる。 ()
- (13) 愛情の念がわく。 ()
- (14) 商売が繁盛する。 ()
- (15) 彼は多忙な男だ。 ()
- (16) 怖い話を聞く。 ()
- (17) 悪い関係を断つ。 ()
- (18) ひとみを凝らす。 ()
- (19) 思いを込める。 ()
- (20) 部屋を掃除する。 ()
- (21) 騒音に悩む。 ()
- (22) 平凡に暮らす。 ()
- (23) 要点を把握する。 ()
- (24) 何か魂胆がありそうだ。 ()
- (25) 鋭敏な感覚の持ち主。 ()

- (1) ボウハンベルを鳴らす。 ()
- (2) 大統領にシュウニンする。 ()
- (3) 床のコウタクが消える。 ()
- (4) 勝手にカイシヤクする。 ()
- (5) 論文のゴヤクを指摘する。 ()
- (6) 町のケイカンが損われる。 ()
- (7) キボを拡大する。 ()
- (8) 国語ジテンをひく。 ()
- (9) ものがエンカツに運ぶ。 ()
- (10) ホテルにトまる。 ()
- (11) 愛情をソソぐ。 ()
- (12) 職をジする。 ()
- (13) 胸のタントウを抜く。 ()
- (14) キテンをきかす。 ()
- (15) 武家ヤシキが並ぶ。 ()
- (16) 外国をレキホウする。 ()
- (17) 危機をダツシュツする。 ()
- (18) 敵のショウコウをねらう。 ()
- (19) 車のオウライが激しい。 ()
- (20) ムスメの世話を焼く。 ()
- (21) 静かなクチョウで話す。 ()
- (22) ココロヨい気分にひたる。 ()
- (23) 八百屋をイトナむ。 ()
- (24) 得意先をセツタイする。 ()
- (25) 横綱にシヨウシンする。 ()

③ 次の慣用句の意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 〈各1点〉

- (1) 油を売る
- (2) お茶をにごす
- (3) たかをくくる
- (4) さじを投げる
- (5) やぶから棒
- (6) 脚光を浴びる
- (7) あげ足をとる
- (8) 音頭をとる
- ア 人の先頭に立つてものごとをすること。
- イ うまくできる見込みがなくなつて投げ出すこと。
- ウ 言葉じりなどをとらえて困らせること。
- エ 軽く考えて見くびること。
- オ むだ話などをしてなまけること。
- カ だしぬけにものを言つたりしすること。
- ク 適当にごまかすこと。
- キ 広く世間から注目されること。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

④ 次のことわざの意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 〈各1点〉

- (1) 悪事千里を走る
- (2) 二階から目薬
- (3) おぼれる者はわらをもつかむ
- (4) 枯れ木も山のにぎわい
- (5) 得手に帆をあげる
- (6) 船頭多くして船山にのぼる
- (7) 魚心あれば水心
- (8) 石の上にも三年
- ア 直接効果がなくて、もどかしいこと。
- イ あれこれ言う人が多くて却かえつてうまくいかないこと。
- ウ つまらないものでもないよりはましなこと。
- エ 何事も相手の出方次第でこちらの態度が決まること。
- オ 何事も辛抱強くやれば成功するということ。
- カ 悪い行いや評判はすぐに知られてしまうということ。
- ク 苦しい時にはどんなものでも頼りにすること。
- キ 得意になつてことを進めること。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

⑤ 次の□に体の部分を表す漢字一字を入れて慣用句を完成させ、その意味をあとから選んで記号で答えなさい。 〈完答各2点〉

- (1) □をふるう
- (2) □を割る
- (3) □を巻く
- (4) □がこむ
- (5) □が広い
- (6) □をひねる
- (7) □に余る
- (8) □を持つ
- (9) □が出る
- (10) □を明かす
- ア 交際範囲が広いこと。
- イ 出し抜いてあつと言わせること。
- ウ 隠さずに打ち明けること。
- エ 味方をする事。
- オ 予算をオーバーすること。
- カ 能力を十分に發揮すること。
- ク することがひどくて見ていられないこと。
- ケ あれこれ考えをめぐらすこと。
- コ 細工がごまかいこと。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)
(9)
(10)

⑥ 次のことわざに最も関係が深い言葉をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 〈各2点〉

- (1) ぬれ手にあわ
- (2) 亀の甲より年の功
- (3) 石橋をたたいて渡る
- (4) 長いものには巻かれよ
- (5) 九牛の一毛
- (6) 身から出たさび
- (7) 能あるたかはつめを隠す
- ア 経験
- イ 慎重
- ウ 枝葉末節
- エ 自業自得
- オ 事大主義
- カ ぼろもつけ
- キ 謙虚

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)

21 古典の基礎(2)

氏名

得点

100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。 各1点

2 次の——線を漢字に直しなさい。 各1点

- (1) 十分に睡眠をとる。 ()
- (2) 縄で両手を縛る。 ()
- (3) 風体の怪しい人物。 ()
- (4) 師の恩に報いる。 ()
- (5) 祝宴の席を調える。 ()
- (6) 誓いを立てる。 ()
- (7) 民のために尽くす。 ()
- (8) 頑強に言い張る。 ()
- (9) 先生の承諾を得る。 ()
- (10) 真紅の血を流す。 ()
- (11) 新郎新婦の入場。 ()
- (12) 豪雨にみまわれる。 ()
- (13) 車に酔う。 ()
- (14) 団子を蒸す。 ()
- (15) 神に哀願する。 ()
- (16) 本を濫読する。 ()
- (17) 水面に気泡がたつ。 ()
- (18) 規制を緩和する。 ()
- (19) ピアノで伴奏する。 ()
- (20) 警鐘を鳴らす。 ()
- (21) 名譽を重んじる。 ()
- (22) 川が大きく蛇行する。 ()
- (23) 迅速に処理する。 ()
- (24) 山賊が出没する。 ()
- (25) 万歳を唱える。 ()

- (1) ドキョウをつける。 ()
- (2) ゲツレイの会議を開く。 ()
- (3) 力をオンゾンする。 ()
- (4) 母はラクテン的な性格だ。 ()
- (5) 生活のリョウイキを広げる。 ()
- (6) 新聞のシュザイを受ける。 ()
- (7) コツツミを送る。 ()
- (8) タンセイな顔立ち。 ()
- (9) 体をソらす。 ()
- (10) 要求をミたす。 ()
- (11) 旅費のタしにする。 ()
- (12) ゾウカを作る。 ()
- (13) 国のチアンが悪化する。 ()
- (14) タイコウ試合に出る。 ()
- (15) 地方にキョジュウする。 ()
- (16) インガ関係を調査する。 ()
- (17) 国民の声をダイベンする。 ()
- (18) 犯罪がタハツする。 ()
- (19) 植物のクキを食べる。 ()
- (20) チューリップのキュウコン。 ()
- (21) 交番で道をタズねる。 ()
- (22) 弓で獣をかる。 ()
- (23) 商品をソウコに入れる。 ()
- (24) タイコの昔。 ()
- (25) 車を路上にチュウシャする。 ()

3

次の文章中の——線部の主語を、それぞれ文章中から抜き出して書きなさい。

〈各5点〉

- (1) 和泉の国に塩穴といふ侍あり。馬上より銭の落ちたるありと見付け、馬をとめ、中間にあれなる物を取りて来たれと。
- (2) ある時、きつね、忍じきを求めかねて、ここかしこさまよふところに、からす、肉をくはへて、木の上ををり。
- (3) 仁和寺にある法師、年寄るまで石清水を拝まざりければ、心うく覚えて、あるとき思ひたちて、ただ一人、徒歩より詣でけり。

(1)	
(2)	
(3)	

4

次の各文章には、「」でくくるべき会話の部分がそれぞれ一か所ずつあります。その部分を文章中から抜き出し、初めと終わりの三字で答えなさい。

〈各5点〉

- (1) 常州のある山寺に、遁世の上人ありけり。万の修行者のあつまり、中にある僧申しけるは、法師は生まれてよりこのかた、すべて腹立て候はずといふ。この上人、学生なる故に、仏法の道理を以てこれを信ぜず。
- (2) 高名の木のぼりと言ひしをのこ、人をおきて、高き木にのぼせて梢を切らせしに、いと危く見えしほどは言う事もなくて、降るる時に、軒長ばかりになりて、「あやまちすな、心して降りよ。」と言葉をかけ待りしを、「かばかりになりては、飛び降るとも降りなん。いかにかく言ふぞ。」と申し侍りしかば、その事に候目くるめき、枝危きほどは、おのれが恐れ侍れば申さず。あやまちはやすき所になりて、必ず仕る事に候ふと言ふ。

(1)	
(2)	

5

次の各訓読文の書き下し文として正しいものをそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

〈各5点〉

- (1) 過 則 勿 憚 改
 ア 過ちては則ち勿かれ改むるに憚ること
 ウ 過ちては則ち改むるに憚ること勿かれ
 エ 過ちては改むるに則ち憚ること勿かれ
- (2) 醉 臥 沙 場 君 莫 笑
 ア 醉ふて沙場に臥すとも君笑ふこと莫かれ
 ウ 沙場に臥すとも君醉ふて笑ふこと莫かれ
 エ 君醉ふて笑ふこと莫かれ沙場に臥すとも
- (3) 有 朋 自 遠 方 来 亦 樂 乎
 ア 遠方より朋来たるあり、樂しからずや
 ウ 朋あり遠方より来たる、また樂しからずや
 エ 遠方より来たる朋あり、樂しからずや
 イ 朋遠方より来たるあり、また樂しからずや

(1)	
(2)	
(3)	

6

次の作品に関係の深い人物をA群から、時代をB群からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

〈各1点〉

- | | | | | |
|-------------|---------|-----------|---------|----------|
| (1) 徒然草 | (2) 万葉集 | (3) 奥の細道 | (4) 枕草子 | (5) 源氏物語 |
| [A群] ア 松尾芭蕉 | イ 紫式部 | ウ 山上憶良 | エ 吉田兼好 | オ 清少納言 |
| [B群] カ 奈良時代 | キ 平安時代 | ク 鎌倉・室町時代 | ケ 江戸時代 | コ 明治時代 |

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

22

助動詞(1)

氏名

得点

100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。 各1点

2 次の——線を漢字に直しなさい。 各1点

(1) 誠の愛を示す。 () ()

(1) 電力のジュヨウが伸びる。 () ()

(2) 大きく天を仰ぐ。 () ()

(2) ソクダンを慎む。 () ()

(3) 友人を欺く。 () ()

(3) 話のユライを調べる。 () ()

(4) 卑劣な行為をにくむ。 () ()

(4) シアンにくれる。 () ()

(5) 義務を遂行する。 () ()

(5) 伝言をイライする。 () ()

(6) 近所を巡回する。 () ()

(6) ナミダを流す。 () ()

(7) 彼は怠惰な性格だ。 () ()

(7) チームをヒキいる。 () ()

(8) 肝心な点を忘れる。 () ()

(8) 物資をユソウする。 () ()

(9) 夕食の献立を作る。 () ()

(9) 小説のコウソウを練る。 () ()

(10) 謹んでおわびする。 () ()

(10) 選手団のキシユを務める。 () ()

(11) 稲をかる。 () ()

(11) カンモンを突破する。 () ()

(12) 弔辞を読む。 () ()

(12) 機械がサドウする。 () ()

(13) 技巧をこらす。 () ()

(13) 犯罪をコンセツする。 () ()

(14) 魔法をかける。 () ()

(14) 細かくビョウシヤする。 () ()

(15) 鐘楼に登る。 () ()

(15) 書類にシヨメイする。 () ()

(16) 車が徐行する。 () ()

(16) 申し出をコトワる。 () ()

(17) 妄想を抱く。 () ()

(17) 体が左にカタムく。 () ()

(18) 弟子を育てる。 () ()

(18) オウネンの大スター。 () ()

(19) 唇をかむ。 () ()

(19) ダカイ策を考える。 () ()

(20) 浜辺で遊ぶ。 () ()

(20) どうかナイブンに願います。 () ()

(21) 民家に忍び込む。 () ()

(21) 都のシンチョウシヤが完成する。 () ()

(22) 証人を喚問する。 () ()

(22) 部外者をハイジヨする。 () ()

(23) 冠をかぶる。 () ()

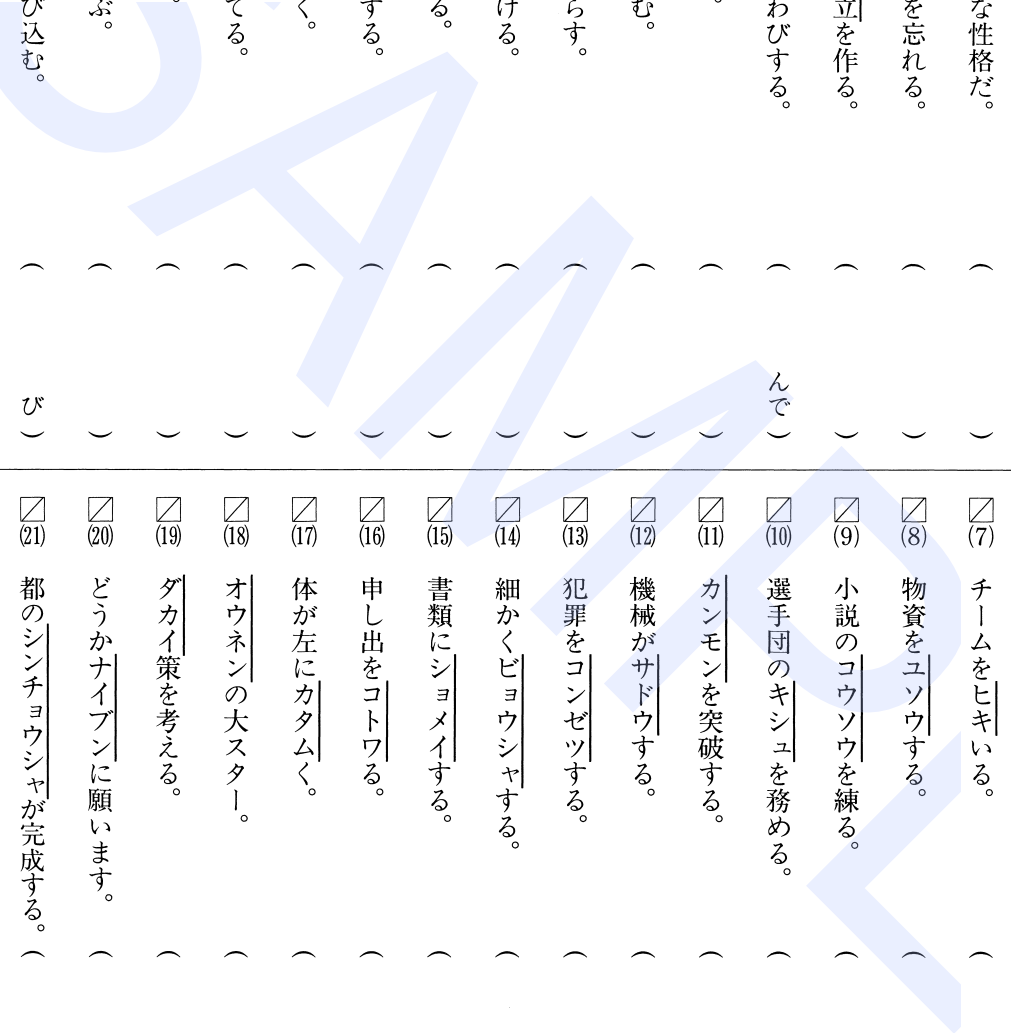
(23) テンセンビョウがはやる。 () ()

(24) 扇子であおぐ。 () ()

(24) 栄養をキュウシユウする。 () ()

(25) 峰に残った雪がとける。 () ()

(25) トクチョウをつかむ。 () ()



3

- 次の各文中から、助動詞をすべて抜き出して書きなさい。
- (1) そろそろ出かける時間だそうです。
 - (2) どうしてそんなことをしたのだ。
 - (3) 駅で知らない人に声をかけられた。
 - (4) 買いたいと思うものが、まだ見つかりません。
 - (5) 今ごろはもう、家に着いたころだろう。
 - (6) まさか彼が失敗するようなこともあるまい。
 - (7) 彼にうんと言わせたなら、何でも好きなものをあげよう。
 - (8) 眠ろうとすればするほど、かえって眠れなくなるものだ。

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

〈完答各2点〉

4

次の各文の——線部の助動詞の意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

〈各2点〉

- (1) 最終電車は、たった今出たばかりだ。
- (2) 今日は、私の十四回目の誕生日です。
- (3) 他人の悪口は決して言うまいと思った。
- (4) 私も、彼女が持っているような大きなバッグが欲しい。
- (5) このふんでは、午後から雨になりそうだ。
- (6) もう少しピッチをあげれば、明日の朝までにはかたがつこう。
- (7) 罰として、毎日、玄関の掃除をやらせる。
- (8) わがチームが優勝するなんて、まるで夢を見ているようだ。
- (9) 今年の夏は、例年になく涼しかった。
- (10) 彼女が病気だったというのは、どうも本当らしい。
- (11) 昔のことをよく覚えておられますね。
- (12) ほめられたからといって、喜んでばかりもいられない。
- (13) 外国にいる両親のことが思い出される。
- (14) きみ一人じゃ心配だから、ほくも一緒に行こう。
- (15) 彼は何にでもすぐ首をつっこみたがる。
- (16) もつれた糸を根気よくときほぐす。
- (17) きのはどこへも行かないで、家で本を読んでいた。

- | | | | | |
|----|---------|---------|------|-----|
| ナ | タ | サ | カ | ア |
| 伝聞 | 丁寧な断定 | 確認 | 打ち消し | 使役 |
| ニ | チ | シ | キ | イ |
| 比況 | 断定 | 過去 | 希望 | 受け身 |
| ヌ | ツ | ス | ク | ウ |
| 例示 | 推定 | 完了 | 意志 | 自発 |
| | テ | セ | ケ | エ |
| | 様態 | 存続 | 推量 | 可能 |
| | ト | ソ | コ | オ |
| | 打ち消しの推量 | 打ち消しの意志 | 勧誘 | 尊敬 |

(10)	(1)
(11)	(2)
(12)	(3)
(13)	(4)
(14)	(5)
(15)	(6)
(16)	(7)
(17)	(8)
	(9)

29

敬語の知識

氏名

得点

100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。〈各1点〉

- (1) 大きく躍進する。()
- (2) 円陣を組む。()
- (3) 仕事を継続する。()
- (4) 漠然とした思い。()
- (5) 粘着テープを使う。()
- (6) 感情の高ぶりを抑制する。()
- (7) 偉業をたたえる。()
- (8) しがない稼業。()
- (9) 惜別の情が残る。()
- (10) 余韻が残る。()
- (11) 滞貨を一掃する。()
- (12) 世界を放浪する。()
- (13) 面目躍如たるものがある。()
- (14) 外国からの賓客。()
- (15) 腹をこわして下痢をする。()
- (16) 商魂のたくましさ。()
- (17) 植物の繊維。()
- (18) 彼は屈託のない男だ。()
- (19) 控室で待機する。()
- (20) 日本の官僚機構。()
- (21) 無謀な試みをする。()
- (22) 謙讓の精神を発揮する。()
- (23) 拍車がかかる。()
- (24) 財閥を解体する。()
- (25) 栄華をきわめる。()

2 次の——線を漢字に直しなさい。〈各1点〉

- (1) 秘密の情報をニューウシユする。()
- (2) 優秀なズノウの持ち主。()
- (3) これをやるのはシナンの業だ。()
- (4) 命令をフクシヨウする。()
- (5) シレンに耐える。()
- (6) キドウを修正する。()
- (7) 草木がメブく。()
- (8) 掃除当番をカす。()
- (9) 大型の台風がセマる。()
- (10) 雑誌をソウカンする。()
- (11) ツウカイな事件に拍手する。()
- (12) キャクホンを読む。()
- (13) クキョウウに立つ。()
- (14) コウカな宝石。()
- (15) 能力がオトる。()
- (16) アマモリがする。()
- (17) 体力のゲンカイに挑む。()
- (18) キョクチ的な豪雨。()
- (19) コウズイで家が流される。()
- (20) ジシヤクの針が北を指す。()
- (21) ゴウレイをかける。()
- (22) ビミョウな心理を読み取る。()
- (23) タイメンを傷つける。()
- (24) 費用をセツパンする。()
- (25) ヒッセキを鑑定する。()

3

- 次の各文の——線部は、あとにあげた敬語のどれにあたりますか。それぞれ記号で答えなさい。〈各2点〉
- (1) あの高山が富士山です。
 - (2) 必ず時間どおりにうかがいます。
 - (3) 青木さん、お元気ですか。
 - (4) もう、お読みなつたのですか。
 - (5) これは、お客様からいただいたものです。
 - (6) 明日、必ずこれんらくいたします。
 - (7) これですべてでござります。
 - (8) 向こうから、先生が歩いて来られる。

ア 尊敬語

イ 謙讓語

ウ 丁寧語

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

4

- 次の各文の場合の敬語の使い方として正しいものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。〈各2点〉
- (1) 先生は、コーヒーを(ア) 飲み (イ) 召し上がりですか。
 - (2) お客様、そんな無茶を(ア) しては (イ) なさっては(い)けません。
 - (3) (ア) 母 (イ) お母さん)なら、今家におります。
 - (4) 私は明日必ず十時に(ア) いらつしゃい (イ) おいでなり (ウ) まいります。
 - (5) 先生はもう(ア) 見た (イ) ご覧になった (ウ) 拝見した)のですか。
 - (6) 両親が、ぜひお会いしたいと(ア) 言つて (イ) 言われて (ウ) 申して)おりました。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

5

- 次の各文のへん内(ア)の言葉を、あとに続くようにそれぞれ正しい敬語表現にかえなさい。〈各2点〉
- (1) 父がよろしくと(ア)言う(ア)おりました。
 - (2) この本は、卒業記念に先生から(ア)もら(ア)たものです。
 - (3) 遠慮せずにどうぞ(ア)食(ア)べ(ア)る(ア)ください。
 - (4) 私のほうから(ア)行(ア)く(ア)ます。
 - (5) お疲れでしょうから、私がかわりに(ア)す(ア)る(ア)ま(ア)し(ア)よう。
 - (6) お手紙(ア)見(ア)る(ア)ま(ア)した。みな元気とのこと、ひとまず安心いたしました。

(5)	(1)
(6)	(2)
	(3)
	(4)

6

- 次の各文には、敬語表現の誤りが一か所あります。その部分を抜き出し、正しい形に直しなさい。〈各2点〉
- (1) 父兄会には、父がおいでになります。
 - (2) 十分に召し上がったので、もう結構です。
 - (3) あなたの申したいことはよくわかりました。
 - (4) その件なら、私のほうからご説明なさいます。
 - (5) 祖父が大切にしている絵を、いつ拝見されましたか。

(4)	(1)
(5)	(2)
	(3)

30

中学2年までのまとめ(1)

氏名

得点

100

1

- 次の——線部の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。
- 濁流にのまれる。
 - 花を眺めて心を慰める。
 - カーテンで光を遮る。
 - 敵に敢然と立ち向かう。
 - 声に抑揚をつけて話す。
 - ゲンカンの掃除をする。
 - 船が左側に大きくカタムく。
 - ヤクソクを守る。
 - 気温がジョウショウする。
 - 熱湯をかけてサッキンする。

〈各2点〉

(6)	(1)
(7)	(2)
く	める
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)

2

次の(1)～(5)は、それぞれ二つの漢字をいくつかの部分に分け、同じ大きさにして並べかえてあります。下の点線で示した部分を参考に組み合わせて、それぞれ熟語を完成させなさい。

〈各2点〉

(1)	田月包糸 ↓	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(2)	衣皮列石 ↓	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(3)	敬童言金 ↓	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(4)	更貝石化 ↓	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(5)	目亡心木女 ↓	<input type="text"/>	<input type="text"/>

3

次の各組から、——線部の漢字の読み方が他と異なるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。 〈各2点〉

- | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (10) | (9) | (8) | (7) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| ア | ア | ア | ア | ア | ア | ア | ア | ア | ア |
| 盛大 | 執筆 | 献金 | 精進 | 願望 | 横暴 | 強引 | 貧困 | 反抗 | 進化 |
| イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ |
| 隆盛 | 執行 | 献立 | 精密 | 望郷 | 暴動 | 強大 | 貧弱 | 造反 | 化身 |
| ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ |
| 盛夏 | 執念 | 献上 | 精米 | 人望 | 暴言 | 列強 | 貧乏 | 背反 | 化石 |
| エ | エ | エ | エ | エ | エ | エ | エ | エ | エ |
| 繁盛 | 執刀 | 献血 | 精髓 | 眺望 | 暴落 | 強制 | 貧相 | 反物 | 美化 |
| オ | オ | オ | オ | オ | オ | オ | オ | オ | オ |
| 盛況 | 確執 | 献身 | 精魂 | 所望 | 暴露 | 補強 | 貧寒 | 反響 | 化合 |

(9)	(1)
(10)	(2)
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	

4

次の漢語の組み立てとして適切なものをそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

〈各1点〉

- (1) 再会 (2) 求人 (3) 地震 (4) 就職 (5) 巧拙 (6) 末席 (7) 跳躍
 (8) 日没 (9) 親友 (10) 握手 (11) 諾否 (12) 御殿 (13) 墳墓 (14) 雷鳴
- ア 似た意味の漢字を組み合わせたもの
 ウ 上の漢字が下の漢字を修飾しているもの
 オ 上の漢字が接頭語的に意味を添えるもの
- イ 反対の意味の漢字を組み合わせたもの
 エ 下の漢字が上の漢字の目的・対象などを示すもの
 カ 上の字と下の字が主語・述語の関係にあるもの

(8)	(1)
(9)	(2)
(10)	(3)
(11)	(4)
(12)	(5)
(13)	(6)
(14)	(7)

5

次の各文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直しなさい。

〈各1点〉

- (1) 病気がカイホウに向かう。()
 (2) 病人のカイホウをする。()
- (3) 彼女はカンシンな人だ。
 (2) カンシンを買う。()
- (5) 駅で友だちとアう。
 (2) 旅先で盗難にアう。()
- (7) シンチョウに行動する。
 (2) 意味シンチョウな発言。()
- (9) タイショウから外す。
 (2) タイショウ的な性格。()
 (3) 左右タイショウの図形。()
- (6) 自ら危険をオカす。
 (2) 他国の主権をオカす。
- (4) 一人イサイを放つ。
 (2) イサイは後日書面で報告します。
- (8) キョウイ的な記録を出す。
 (2) 敵のキョウイにさらされる。()
- (10) 着物の帯をシめる。
 (2) 両手で首をシめる。()
- (1) 裁判所にイギを申し立てる。
 (2) 参加することにイギがある。()
 (3) イギを正して話に聞き入る。()

6

次の(1)～(3)は類義語を、(4)～(6)は対義語をそれぞれあとから選び、漢字に直して書きなさい。

〈各1点〉

- (1) 節約 (2) 薄情 (3) 進歩 (4) 自由 (5) 勤勉 (6) 過激

ソクバク ケンヤク タイダ コウジョウ レイタン オンケン

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
-----	-----	-----	-----	-----	-----

7

次の言葉の意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

〈各1点〉

- (1) のれんに腕押し (2) 他山の石 (3) かたずを飲む
 (4) 漁夫の利 (5) 紺屋の白ばかま (6) えびでたいを釣る
 (7) 枯れ木も山のにぎわい (8) 二の足を踏む
- ア わずかなもと手で大きな利益を得ること。
 ウ 横から第三者が利益を得ること。
 オ まるで手ごたえがないこと。
 キ 息をこらして、成り行きを見守ること。
- イ つまらないものでも、ないよりはましなこと。
 エ しりごみすること。
 カ 他人のことばかり気にして自分がおろそかになること。
 ク 人の行動を自分を磨くかてとして役立てること。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

- (25) 子供の将来を気に病む。(やむ)
- (24) 生糸の生産地。(きいと)
- (23) 水河が地表を覆う。(おお)
- (22) 水が汚れる。(よごれる)
- (21) 猫の首に鈴をつける。(すず)
- (20) 国家が減亡する。(めつぼう)
- (19) 景気が衰退する。(すいたい)
- (18) 波及効果を調べる。(はきゆう)
- (17) 良縁にめぐまれる。(りょうえん)
- (16) ひもで天井につる。(てんじょう)
- (15) 花壇に花を植える。(かだん)
- (14) 原稿を書く。(げんこう)
- (13) 精進料理を食べる。(しょうじん)
- (12) 著しい成長を示す。(いちじるしい)
- (11) しっかりと手を握る。(にぎる)
- (10) うさが跳ねる。(はねる)
- (9) グランドに土を盛る。(もる)
- (8) 砂糖が水に溶ける。(とける)
- (7) 舞踊を習う。(ぶよう)
- (6) 資金が潤沢にある。(じゆんたく)
- (5) 銀の含有量を調べる。(がんゆう)
- (4) かさの滴をはらう。(しずく)
- (3) 悲しみのあまり絶叫する。(ぜつきよう)
- (2) 無償で援助する。(むしょう)
- (1) 食卓に向かう。(しょくたく)

- (25) 雨で道路がスラングンされる。(寸断)
- (24) カンカクを開けて歩く。(間隔)
- (23) 毎日、十時には来る。(寝る)
- (22) よく二た顔をしている。(似た)
- (21) いすにコシをおろす。(腰)
- (20) ソウサもなくやりとげる。(造作)
- (19) 裏切りのコワイ。(行為)
- (18) 事物のメイシヨウを表す。(名称)
- (17) ヨウリヨウよく仕事をする。(要領)
- (16) ホジョいすに座る。(補助)
- (15) ここは交通のベンがよい。(連帯)
- (14) 多くの人がレンタイする。(抽象的)
- (13) チュウシヨウテキな話。(徒勞)
- (12) 努力がトロウに帰す。(過大)
- (11) カタイに評価する。(支える)
- (10) 家計をササえる。(栄えた)
- (9) 古代文明のサカえた地。(踏む)
- (8) あやまつてくぎをフむ。(恐ろしい)
- (7) オソろしい思いをする。(日照り)
- (6) 毎日、ヒテリが続く。(特殊)
- (5) トクシユな技術を持つ。(自慢)
- (4) 腕前をジマンする。(絶筆)
- (3) セツピツとなった作家の作品。(要因)
- (2) 失敗のヨウインを挙げる。(意図)
- (1) 発言のイトをさぐる。(意図)

- (25) 組織が分裂する。(ぶんれつ)
- (24) 尋常ではない様子を見せる。(じんじょう)
- (23) 本音を吐く。(はく)
- (22) 何かの焦げる臭いがする。(こげる)
- (21) 国境を越える。(こえる)
- (20) 偉い人に面会する。(えらい)
- (19) 夏を惜しむ。(おしむ)
- (18) 松の木に登る。(まつ)
- (17) 借りた本を返戻する。(へんれい)
- (16) 父は冗談ばかり言う。(じょうだん)
- (15) 煙が目にしみる。(けむり)
- (14) 大きな岩の塊。(かたまり)
- (13) 囲碁裏をかこむ。(いろいろ)
- (12) 不吉な予感がする。(ふきつ)
- (11) 荷物を紙袋に入れる。(かみぶくろ)
- (10) 自分の流儀で行う。(りゆうぎ)
- (9) 悪い癖を治す。(くせ)
- (8) 帽子をかぶる。(ぼうし)
- (7) 大きな岩を砕く。(くだく)
- (6) 天ぶらを揚げる。(あげ)
- (5) 川の水が濁る。(にごる)
- (4) 慌てて外へ飛び出す。(あわてて)
- (3) 釣果を競う。(ちようか)
- (2) 誤りを訂正する。(ていせい)
- (1) 唐突に話し出す。(とうとつ)

- (25) 資料をブンセキする。(分析)
- (24) 所得がバイソウする。(倍増)
- (23) イジヨウ気象が続く。(異常)
- (22) 誤りをシテキする。(指摘)
- (21) 種子がハツガする。(発芽)
- (20) 古代の文字をカイドクする。(解読)
- (19) 収量がゲキケンする。(激減)
- (18) 水がジョウハツする。(蒸発)
- (17) 体をアタタめる。(暖める)
- (16) 絵をエガク。(描く)
- (15) 図書館で本をサガす。(探す)
- (14) ホウを振り回す。(棒)
- (13) まりもがコテイに沈む。(湖底)
- (12) カフンが風に舞う。(花粉)
- (11) 植物のブンブを調べる。(分布)
- (10) エモノをとらえる。(獲物)
- (9) ミズべにすむ動物。(水辺)
- (8) すばやくタイシヨする。(対処)
- (7) チエを働かす。(知恵)
- (6) 家ちくをシイクする。(飼育)
- (5) キントウに分ける。(均等)
- (4) 熱をホウシヤする。(放射)
- (3) 足場をコウチクする。(構築)
- (2) シソンの繁栄をはかる。(子孫)
- (1) できばえをクラべる。(比べる)

8 漢字の組み立て

氏名

得点

100

7 用言(3)

氏名

得点

100

へドリル2年解答

へドリル2年解答

③ 次の(1)~(6)は、それぞれ二つの漢字をいくつかの部分に分け、同じ大きさにして並べかえてあります。下の点線で示した部分を参考に組み合わせて、それぞれ熟語を完成させなさい。

例 日言月正 ↓ 言正 ↓ 日月 ↓ 証明

(1) 頁岡令糸 ↓	(2) 心安田木 ↓
(3) 道秀寸言 ↓	(4) 口取未走 ↓
(5) 木青門争 ↓	(6) 力穴工木口 ↓

④ 次の□に共通する字を補い、それぞれ熟語を完成させなさい。

例 明□ ↓ 明月 (1) □地 ↓ (2) □才 ↓ (3) □眼 ↓ (4) □共 ↓ (5) □灯 ↓

(6) 岩	(1) 土
(7) 石	(2) 地
(8) 植	(3) 眼
(9) 言	(4) 昔
(10) 努	(5) 田

⑤ 次の各見出しのカタカナをそれぞれ適切な漢字に直して、熟語を完成させなさい。

(1) ハク	拍	手
(2) テキ	適	任
(3) セイ	清	潔
(4) ソ	祖	先
(5) ケン	保	険

(1) 迫	力
(2) 指	摘
(3) 快	晴
(4) 阻	止
(5) 真	剣

(1) 停	泊
(2) 宿	敵
(3) 精	密
(4) 租	税
(5) 検	討

(1) 画	伯
(2) 水	滴
(3) 請	求
(4) 粗	雑
(5) 実	験

⑥ 次の漢字の部首を抜き出し、その部首名をあとから選んで記号で答えなさい。

(1) 際 (2) 空 (3) 欧 (4) 思 (5) 段 (6) 医 (7) 難

ア うかんむり イ ふるとり ウ したころ エ かくしがまえ オ あくび
カ こざとへん キ おおざと ク あなかんむり ケ のぶん コ るまた

(1) 夂	阝
(2) コ	カ
(3) 匚	宀
(4) エ	ク
(5) 隹	欠
(6) イ	オ
(7) 心	ウ

③ 次の——線部の動詞の活用の種類を、それぞれ例にならって答えなさい。

例 毎日雨が降る。 ↓ ラ行五段活用

(1) 練習をすればするほど、力がつく。	(2) わからなければ、教えてあげよう。
(2) 父はもうすぐ来ます。	(3) 彼の話をじっくり聞こう。
(3) もう遅いから、早く寝ろ。	(4) 私は、テレビはあまり見ない。
(4) 一年間に十センチも身長が伸びた。	(5) 素直なのが彼のとりえだ。
(5) 歩きながら、ものを食べるな。	(6) どんなにきつかつかうと、最後までがんばる。
(6) 歩みながら、ものを食べるな。	(7) きみさえよければ、ぼくはかまわない。
(7) 歩みながら、ものを食べるな。	(8) 今日(けふ)は楽しいゆうございました。
(8) 歩みながら、ものを食べるな。	(9) きみさえよければ、ぼくはかまわない。
(9) 歩みながら、ものを食べるな。	(10) 今日(けふ)は楽しいゆうございました。
(10) 歩みながら、ものを食べるな。	(11) きみさえよければ、ぼくはかまわない。
(11) 歩みながら、ものを食べるな。	(12) きみさえよければ、ぼくはかまわない。

④ 次の——線部の用言の種類と活用形を、それぞれ例にならって答えなさい。

例 桜が咲いた。 ↓ 動詞・連用形

(1) 部屋をきれいに掃除する。	(2) もっと大きな声を出せ。
(2) 寒いから、窓を閉めてくれないか。	(3) 歩みながら、ものを食べるな。
(3) 行くのがいやなら、行かなくてもよい。	(4) どんなにきつかつかうと、最後までがんばる。
(4) 彼女はとても明るい性格です。	(5) 素直なのが彼のとりえだ。
(5) 濟んだことは、もう忘れろよ。	(6) どんなにきつかつかうと、最後までがんばる。
(6) 濟んだことは、もう忘れろよ。	(7) 今日(けふ)は楽しいゆうございました。
(7) 濟んだことは、もう忘れろよ。	(8) 今日(けふ)は楽しいゆうございました。
(8) 濟んだことは、もう忘れろよ。	(9) きみさえよければ、ぼくはかまわない。
(9) 濟んだことは、もう忘れろよ。	(10) きみさえよければ、ぼくはかまわない。
(10) 濟んだことは、もう忘れろよ。	(11) きみさえよければ、ぼくはかまわない。
(11) 濟んだことは、もう忘れろよ。	(12) きみさえよければ、ぼくはかまわない。

⑤ 次の各組の①・②が対応するように、それぞれ()に適切な語を書き入れなさい。

(1) 水()が()流れる。 (2) 姿()が()変わる。

(2) 水()を()流す。 (3) 姿()を()変える。

(3) 子供()を()育つ。 (4) クラスの意見()が()まとまる。

(4) 洗濯もの()が()乾く。 (5) クラスの意見を()まとめる。

(5) 洗濯ものを()乾かす。

⑥ 次の——線部の単語は、A形式動詞、B形式形容詞のどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。

(1) 仕事を手伝ってほしいのですが。 (2) 先生に相談してみる。

(2) 彼は有名な作家である。

(3) 季節はずれの桜が咲いている。

(4) 彼は有名な作家である。

(5) この小説はあまりおもしろくない。

(1) B	(2) A	(3) A	(4) A	(5) B
-------	-------	-------	-------	-------

- (25) 鋭敏な感覚の持ち主。(えいびん)
- (24) 何か魂胆がありそうだ。(こんたん)
- (23) 要点を把握する。(はあく)
- (22) 平凡に暮らす。(へいぼん)
- (21) 騒音に悩む。(そうおん)
- (20) 部屋を掃除する。(そうじ)
- (19) 思いを込める。(こめる)
- (18) ひとみを凝らす。(こらす)
- (17) 悪い関係を断つ。(たつ)
- (16) 怖い話を聞く。(こわい)
- (15) 彼は多忙な男だ。(たぼう)
- (14) 商売が繁盛する。(はんじょう)
- (13) 愛惜の念がわく。(あいせき)
- (12) 面を上げる。(おもて)
- (11) 卵の殻を割る。(か)
- (10) 生活が困窮する。(こんきゅう)
- (9) 軽業をひろうする。(かるわざ)
- (8) 伺いをたてる。(うかがい)
- (7) それは否めない事実だ。(いなめ)
- (6) かきの実が熟れる。(うれる)
- (5) 安物買いの銭失い。(ぜに)
- (4) 極意を伝授する。(ごくい)
- (3) 歩合で計算する。(ぶあい)
- (2) 声高に話す。(こわだか)
- (1) 修行を積む。(しゅぎょう)

- (25) 横綱にショウシンする。(昇進)
- (24) 得意先をセツタイする。(接待)
- (23) 八百屋をイトナむ。(営む)
- (22) ココロよい気分にあたる。(快)
- (21) 静かなクチャウで話す。(口調)
- (20) ムスメの世話を焼く。(娘)
- (19) 車のオウライが激しい。(往)
- (18) 敵のショウコウをねらう。(将)
- (17) 危機をタツシュツする。(脱)
- (16) 外国をレキホウする。(歴)
- (15) 武家ヤシキが並ぶ。(屋敷)
- (14) キテンをきかす。(機転)
- (13) 胸のタントウを抜く。(短)
- (12) 職をジする。(辞)
- (11) 愛情をソゾぐ。(注)
- (10) ホテルにトまる。(泊)
- (9) ものことがエンカツに運ぶ。(円)
- (8) 国語ジテンをひく。(辞典)
- (7) キボを拡大する。(規)
- (6) 町のケイカンが損われる。(景)
- (5) 論文のゴヤクを指摘する。(誤)
- (4) 勝手にカイシヤクする。(解)
- (3) 床のコウタクが消える。(光)
- (2) 大統領にシユウニンする。(就)
- (1) ホウハンベルを鳴らす。(防)

へドリル2年解答

12 慣用句・ことわざ(1)

氏名
得点
100

- (25) 環境を破壊する。(かんきょう)
- (24) 心情を吐露する。(とろ)
- (23) 殿様を警護する。(とのさま)
- (22) 刃先がかける。(はさき)
- (21) 大声を出して怒る。(おこ)
- (20) 心の悩みを打ち明ける。(なやみ)
- (19) 団塊の世代。(だんかい)
- (18) 焦慮の念を覚える。(しょうりょ)
- (17) 偉大な業績をあげる。(いだい)
- (16) 黒煙があがる。(こくえん)
- (15) 人知を超越する。(ちようえつ)
- (14) 国旗を掲揚する。(けいよう)
- (13) まだ宵の口だ。(よい)
- (12) いねの穂が出せろう。(ほ)
- (11) 謙虚にふるまう。(けんきよ)
- (10) 奇抜なアイデア。(きばつ)
- (9) 例外措置を設ける。(そち)
- (8) 働いて稼ぐ。(かせぐ)
- (7) 布を裂く。(さく)
- (6) 悔いが残る。(くい)
- (5) 記録に挑戦する。(ちようせん)
- (4) 悪癖が身につく。(あくへき)
- (3) 吉日を選ぶ。(きちじつ)
- (2) 壮大な計画を練る。(そうだい)
- (1) 近郷から人々が集まる。(きんごう)

- (25) 彼は班長にテキニンだ。(適任)
- (24) 甘いユウワクに乗る。(誘惑)
- (23) ジドウ公園で遊ぶ。(児童)
- (22) 心アタタまる話。(温)
- (21) 庭をぼんやりながめる。(眺)
- (20) 鉛筆をクスる。(削)
- (19) ゴミをカイシユウする。(回収)
- (18) 彼はヒトガラがよい。(人柄)
- (17) 実力をハッキする。(発揮)
- (16) シンアイの情を表す。(親愛)
- (15) 詩をロウドクする。(朗読)
- (14) シヤクドが異なる。(尺度)
- (13) 技術カクシンが進む。(革新)
- (12) スグれた作品を残す。(優れた)
- (11) 話に水をサす。(差)
- (10) 家族をヤシナう。(養)
- (9) テアラにあつかう。(手荒)
- (8) ニガラワラいを浮かべる。(苦笑)
- (7) ノブトイ声で話す。(野太)
- (6) メイシを差し出す。(名刺)
- (5) ルイは友を呼ぶ。(類)
- (4) しばらくルスにする。(留守)
- (3) ミチバタに座りこむ。(道端)
- (2) 毎日、モウショが続く。(猛暑)
- (1) 技術をシユウトクする。(修得)

へドリル2年解答

11 副詞・連体詞・接続詞・感動詞(3)

氏名
得点
100

③ 次の慣用句の意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 <各1点>

- (1) 油を売る (2) お茶をにごす (3) たかをくくる (4) さじを投げる
- (5) やぶから棒 (6) 脚光を浴びる (7) あげ足をとる (8) 音頭をとる
- ア 人の先頭に立つてもとらえて困らせること。 イ うまくできる見込みがなくなつて投げ出すこと。
- ウ 言葉じりなどをとらえて困らせること。 エ 軽く考えて見くびること。
- オ むだ話などをしてなまけること。 カ だしぬけにものを言ったりしたりすること。
- キ 広く世間から注目されること。 ク 適当にごまかすこと。

(1)	オ
(2)	ク
(3)	エ
(4)	イ
(5)	カ
(6)	キ
(7)	ウ
(8)	ア

④ 次のことわざの意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 <各1点>

- (1) 悪事千里を走る (2) 二階から目葉 (3) おぼれる者はわらをもつかむ
- (4) 枯れ木も山のにぎわい (5) 得手に帆をあげる (6) 船頭多くして船山にのぼる
- (7) 魚心あれば水心 (8) 石の上にも三年
- ア 直接効果がなくて、もどかしいこと。 イ あれこれ言う人が多くて却つてうまくいかないこと。
- ウ つまらないものでもないよりはましなこと。 エ 何事も相手の出方次第でこちらの態度が決まること。
- オ 何事も辛抱強くやれば成功するということ。 カ 悪い行いや評判はすぐに知られてしまうということ。
- キ 得意になってことを進めること。 ク 苦しい時にはどんなものでも頼りにすること。

(1)	カ
(2)	ア
(3)	ク
(4)	ウ
(5)	キ
(6)	イ
(7)	エ
(8)	オ

⑤ 次の□に体の部分を表す漢字一字を入れて慣用句を完成させ、その意味をあとから選んで記号で答えなさい。 <各2点>

- (1) □をふるう (2) □を割る (3) □を巻く (4) □がこむ (5) □が広い
- (6) □をひねる (7) □に余る (8) □を持つ (9) □が出る (10) □を明かす
- ア 交際範囲が広いこと。 イ 出し抜いてあつと言わせること。
- ウ 隠さずに打ち明けること。 エ 味方をする事。
- オ 予算をオーバーすること。 カ 能力を十分に発揮すること。
- キ すこさにおどろくこと。 ク することがひどくて見ていられないこと。
- ケ あれこれ考えをめぐらすこと。 コ 細工がこまかいこと。

(6)	(1)
首	腕
ケ	カ
(7)	(2)
目	腹
ク	ウ
(8)	(3)
肩	舌
エ	キ
(9)	(4)
足	手
オ	コ
(10)	(5)
鼻	顔
イ	ア

⑥ 次のことわざに最も関係が深い言葉をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 <各2点>

- (1) ぬれ手にあわ (2) 亀の甲より年の功 (3) 石橋をたたいて渡る (4) 長いものには巻かれよ
- (5) 九牛の一毛 (6) 身から出たさび (7) 能あるたかはつめを隠す
- ア 経験 イ 慎重 ウ 枝葉末節 エ 自業自得
- オ 事大主義 カ ぼろもつけ キ 謙虚

(1)	カ
(2)	ア
(3)	イ
(4)	オ
(5)	ウ
(6)	エ
(7)	キ

③ 次の各組の——線部の語句のうち、副詞はどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。 <各2点>

- (1) ア もう少し静かにしてください。 イ 先生なら、すぐに来ます。
- (2) ア まさに動物的な身のこなしだ。 イ そんなに騒いではいけません。
- (3) ア 彼は誠実で親切な男だ。 イ まるで夢のような話だ。
- (4) ア しばらく映画を見ていない。 イ 船酔いしたのか、気分が悪くなった。

(1)	イ
(2)	ア
(3)	ア
(4)	イ

④ 次の各組の——線部の語句のうち、連体詞はどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。 <各2点>

- (1) ア 大きな魚を釣り上げる。 イ うわさが大きくなる。
- (2) ア 選手のとんだ距離を測る。 イ 彼のおかげでとんだ目にあう。
- (3) ア 朝寝坊したので、また遅刻してしまった。 イ 都会も好きだし、また田舎も好きだ。
- (4) ア そろって駅まで来て、そこで解散した。 イ 厄介な問題が起きた。そこで、父に相談した。
- (5) ア 風邪がみだつた。それで悪寒がしたのだ。 イ 万年筆を買い、早速それで手紙を書いた。
- (6) ア 係員の指示にしたがって、一列に並ぶ。 イ 彼も人間だ。したがって、まちがうこともある。

(1)	ア
(2)	イ
(3)	イ
(4)	ア

⑤ 次の各組の——線部の語句のうち、接続詞はどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。 <各2点>

- (1) ア もし彼が来なかったら、どうしよう。 イ もし、その人、どうしたんですか。
- (2) ア ちよつと君、それはずうずうしいんじゃない。 イ 疲れたから、この辺りでちよつと休もう。
- (3) ア どれ、ちよつと見せてもらん。 イ 君がかいた絵はどれですか。
- (4) ア 彼みたいにはらばかり吹く人間も珍しい。 イ ほら、空にじが出るよ。
- (5) ア 今日は何曜日だったかな。 イ あれ、実は母の代筆なんです。
- (6) ア この調子なら、まあ何とかなるだろう。 イ まあ、なんてきれいな夕焼けなんでしょう。

(1)	イ
(2)	イ
(3)	ア
(4)	イ

⑥ 次の各組の——線部の語句のうち、感動詞はどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。 <各2点>

- (1) ア 車で行けば、ほんのわずかな時間です。 イ たとえ一人になつても、最後までがんばる。
- (2) ア 最後までがんばる。 イ かすり傷程度だから、たいしたことはない。
- (3) ア 線部の品詞の種類をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 <各2点>
- (4) ア もしもし、山田さんのお宅ですか。 イ 祖父の病気がすっかりよくなった。
- (5) ア 今日は何日ですか。 イ ところで、今日は何日ですか。
- (6) ア 線部は感動詞。 イ 副詞
- (7) ア 接続詞。 イ 感動詞

(1)	イ
(2)	ア
(3)	ア
(4)	イ
(5)	ア
(6)	イ

⑦ 次の各文の——線部の品詞の種類をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。 <各2点>

- (1) 車で行けば、ほんのわずかな時間です。 (2) もしもし、山田さんのお宅ですか。
- (3) たとえ一人になつても、最後までがんばる。 (4) 祖父の病気がすっかりよくなった。
- (5) かすり傷程度だから、たいしたことはない。 (6) ところで、今日は何日ですか。
- (7) やい、そんなところで何をしているんだ。

(1)	イ
(2)	エ
(3)	ア
(4)	ア
(5)	イ
(6)	ウ
(7)	エ

22 助動詞(1)

氏名
得点
100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。(各1点)

- (1) 誠の愛を示す。(まこと)
- (2) 大きく天を仰ぐ。(あおぐ)
- (3) 友人を欺く。(あざむく)
- (4) 卑劣な行爲をにくむ。(ひれつ)
- (5) 義務を遂行する。(すいこう)
- (6) 近所を巡回する。(じゅんかい)
- (7) 彼は怠惰な性格だ。(たいだ)
- (8) 肝心な点を忘れる。(かんじん)
- (9) 夕食の献立を作る。(こんだて)
- (10) 謹んでおわびする。(つつしんで)
- (11) 稲をかる。(いね)
- (12) 甲辞を読む。(ちようじ)
- (13) 技巧をこらす。(ぎこう)
- (14) 魔法をかける。(まほう)
- (15) 鐘楼に登る。(しょうろう)
- (16) 車が徐行する。(じようこう)
- (17) 妄想を抱く。(もうそう)
- (18) 弟子を育てる。(でし)
- (19) 唇をかむ。(くちびる)
- (20) 浜辺で遊ぶ。(はまべ)
- (21) 民家に忍び込む。(しのび)
- (22) 証人を喚問する。(かんもん)
- (23) 冠をかぶる。(かんむり)
- (24) 扇子であおぐ。(せんす)
- (25) 峰に残った雪がとける。(みね)

2 次の——線を漢字に直しなさい。(各1点)

- (1) 電力のジユウウが伸びる。(需要)
- (2) ソクタンを慎む。(速即断)
- (3) 話のユライを調べる。(由来)
- (4) シアンにくれる。(思案)
- (5) 伝言をイライする。(依頼)
- (6) ナミダを流す。(涙)
- (7) チームをヒキいる。(率いる)
- (8) 物資をユソウする。(輸送)
- (9) 小説のコウソウを練る。(構想)
- (10) 選手団のキシユを務める。(旗手)
- (11) カンモンを突破する。(関門)
- (12) 機械がサドウする。(作動)
- (13) 犯罪をコンセツする。(根絶)
- (14) 細かくヒョウシヤする。(描写)
- (15) 書類にシヨメイする。(署名)
- (16) 申し出をコトワる。(断る)
- (17) 体が左にカタムく。(傾く)
- (18) オウネンの大スター。(往年)
- (19) ダカイ策を考える。(打開)
- (20) どうかナイブに願います。(内聞)
- (21) 都のシンチョウシヤが完成する。(新庁舎)
- (22) 部外者をハイジョする。(排除)
- (23) テンセンビョウがはやる。(伝染病)
- (24) 栄養をキユウシユウする。(吸収)
- (25) トクチョウをつかむ。(特徴)

21 古典の基礎(2)

氏名
得点
100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。(各1点)

- (1) 十分に睡眠をとる。(すいみん)
- (2) 綱で両手を縛る。(なわ)
- (3) 風体の怪しい人物。(ふうてい)
- (4) 師の恩に報いる。(むくい)
- (5) 祝宴の席を調える。(ととのえる)
- (6) 誓いを立てる。(ちかい)
- (7) 民のために尽くす。(たみ)
- (8) 頑強に言い張る。(がんきよう)
- (9) 先生の承諾を得る。(しょうだく)
- (10) 真紅の血を流す。(しんく)
- (11) 新郎新婦の入場。(しんろう)
- (12) 豪雨にみまわれる。(ごうう)
- (13) 車に酔う。(よ)
- (14) 団子を蒸す。(むす)
- (15) 神に哀願する。(あいがん)
- (16) 本を鑑読する。(らんどく)
- (17) 水面に気泡がたつ。(きほう)
- (18) 規制を緩和する。(かんわ)
- (19) ピアノで伴奏する。(ばんそう)
- (20) 警鐘を鳴らす。(けいしやう)
- (21) 名譽を重んじる。(めいよ)
- (22) 川が大きく蛇行する。(だこう)
- (23) 迅速に処理する。(じんそく)
- (24) 山賊が出没する。(さんぞく)
- (25) 万歳を唱える。(ばんざい)

2 次の——線を漢字に直しなさい。(各1点)

- (1) ドキョウをつける。(度胸)
- (2) ゲツレイの会議を開く。(月例)
- (3) 力をオンゾンする。(温存)
- (4) 母はラクテン的な性格だ。(楽天)
- (5) 生活のリョウイキを広げる。(領域)
- (6) 新聞のシュザイを受ける。(取材)
- (7) コツツミを送る。(小包)
- (8) タンセイな顔立ち。(端整)
- (9) 体をソラス。(反らす)
- (10) 要求をミタス。(満たす)
- (11) 旅費のタシにする。(足花)
- (12) ソウカを作る。(造花)
- (13) 国のチアンが悪化する。(治安)
- (14) タイコウ試合に出る。(対抗)
- (15) 地方にキョジュウする。(居住)
- (16) イング関係を調査する。(因果)
- (17) 国民の声をタイベンする。(代弁)
- (18) 犯罪がタハツする。(多発)
- (19) 植物のタギを食べる。(茎)
- (20) チューリップのキョウコン。(球根)
- (21) 交番で道をタズネる。(尋ねる)
- (22) 弓で獣をカる。(狩る)
- (23) 商品をソウコに入れる。(倉庫)
- (24) タイコの昔。(太古)
- (25) 車を路上にチュウシヤする。(駐車)

③ 次の各文中から、助動詞をすべて抜き出して書きなさい。

- (1) そろそろ出かける時間だぞうです。
- (2) どうしてそんなことをしたのだ。
- (3) 駅で知らない人に声をかけられた。
- (4) 買いたいと思うものが、まだ見つかりません。
- (5) 今ごろはもう、家に着いたころだろう。
- (6) まさか彼が失敗するようなこともあるまい。
- (7) 彼にうんと言わせたなら、何でも好きなものをあげよう。
- (8) 眠ろうとすればするほど、かえって眠れなくなるものだ。

〈各2点〉

(1)	だ・そうです	(2)	た・だ	(3)	ない・られ・た	(4)	たい・ませ・ん
(5)	た・だろ・う	(6)	ような・まい	(7)	せ・たら・よう	(8)	う・なく・だ

④ 次の各文の——線部の助動詞の意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

〈各2点〉

- (1) 最終電車は、たった今出たばかりだ。
- (2) 今日は、私の十四回目の誕生日です。
- (3) 他人の悪口は決して言うまいと思った。
- (4) 私も、彼女が持っているような大きなバッグが欲しい。
- (5) このぶんでは、午後から雨になりそうだ。
- (6) もう少しビッチをあげれば、明日の朝までにはかたがつこう。
- (7) 罰として、毎日、玄関の掃除をやらせる。
- (8) わがチームが優勝するなんて、まるで夢を見ていたようだ。
- (9) 今年の夏は、例年になく涼しかった。
- (10) 彼女が病気がったというのは、どうも本当らしい。
- (11) 昔のことをよく覚えておられますね。
- (12) ほめられたからといって、喜んでばかりもいられない。
- (13) 外国にいる両親のことが思い出される。
- (14) きみ一人じゃ心配だから、ほくも一緒に行こう。
- (15) 彼は何にでもすぐ首をつこみたがる。
- (16) もつれた糸を根気よくときほぐす。
- (17) きのはどこへも行かないで、家で本を読んでいた。

(10)	(1)	ツ	ス
(11)	(2)	オ	タ
(12)	(3)	イ	ソ
(13)	(4)	ウ	ヌ
(14)	(5)	ク	テ
(15)	(6)	キ	ケ
(16)	(7)	セ	ア
(17)	(8)	カ	ニ
	(9)		シ

- ア 使役
- カ 打ち消し
- サ 確認
- タ 丁寧な断定
- ナ 伝聞
- イ 受け身
- キ 希望
- シ 過去
- チ 断定
- ニ 比況
- ウ 自発
- ク 意志
- ス 完了
- ツ 推定
- ヌ 例示
- エ 可能
- ケ 推量
- セ 存続
- テ 様態
- オ 尊敬
- コ 勧誘
- ソ 打ち消しの意志
- ト 打ち消しの推量

③ 次の文章中の——線部の主語を、それぞれ文章中から抜き出して書きなさい。

〈各5点〉

- (1) 和泉の国に塩穴といふ侍あり。馬上より銭の落ちたるありと見付け、馬をとめ、中間ちゆうかんにあれなる物を取りて来たれと。
- (2) ある時、きつね、まじきを求めかねて、ここかしこさまよふところに、からす、肉しんをくはへて、木の上うへにをれり。
- (3) 仁和寺にんわじにある法師、年寄るまで石清水いしがしみずを拜まざりければ、心うく覚えて、あるとき思ひたちて、ただ一人徒歩たふより詣でけり。

(1)	塩穴といふ侍	(2)	からす	(3)	仁和寺にある法師
-----	--------	-----	-----	-----	----------

④ 次の各文章には、「」でくくるべき会話の部分がそれぞれ一か所ずつあります。その部分を文章中から抜き出し、初めと終わりの三字で答えなさい。

〈各5点〉

- (1) 常州のある山寺に、遁世の上人ありけり。万の修行者のあつまり、中にある僧申しけるは、法師は生まれてよりこのかた、すべて腹立て候はずといふ。この上人、学生がくせいなる故に、仏法の道理を以てこれを信せず。
- (2) 高名たかなの木のはりと言ひしをのこ、人をおきて、高き木にのぼせて梢を切らせしに、いと危く見えしほどは言ふ事もなくて、降るる時に、軒長のきながばかりになりて、「あやまちすな、心して降りよ。」と言葉をかけ侍りしを、「かばかりになりては、飛び降るとも降りなん。いかにかく言ふぞ。」と申し侍りしかば、その事に候目くるめき、枝危きほどは、おのれが恐れ侍れば申さず。あやまちはやすき所になりて、必ず仕る事に候ふと言ふ。

(1)	法師は	(2)	その事	(3)	に候ふ
-----	-----	-----	-----	-----	-----

⑤ 次の各訓読文の書き下し文として正しいものをそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

〈各5点〉

- (1) 過則 勿憚改
- ア 過ちては則ち勿かれ改むるに憚ること
- ウ 過ちては則ち改むるに憚ること勿かれ
- (2) 酔臥 沙場 君 莫笑
- ア 酔ふて沙場に臥すとも君笑ふこと莫かれ
- ウ 沙場に臥すとも君酔ふて笑ふこと莫かれ
- (3) 有朋 自 遠方 一 米 上 亦 樂 乎
- ア 遠方より朋来たるあり、樂しからずやまた
- ウ 朋あり遠方より来たる、また樂しからずや
- イ 朋遠方より来たるあり、また樂しからずや
- エ 遠方より来たる朋あり、樂しからずやまた

(1)	ウ
(2)	ア
(3)	イ

⑥ 次の作品に関係の深い人物をA群から、時代をB群からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

〈各1点〉

- (1) 徒然草
- (2) 万葉集
- (3) 奥の細道
- (4) 枕草子
- (5) 源氏物語

- (A群) ア 松尾芭蕉
- イ 紫式部
- ウ 山上憶良
- エ 吉田兼好
- オ 清少納言
- (B群) カ 奈良時代
- キ 平安時代
- ク 鎌倉・室町時代
- ケ 江戸時代
- コ 明治時代

(1)	エ	(2)	ウ	(3)	ア	(4)	オ	(5)	イ
	ク		カ		ケ		キ		コ

30 中学2年までのまとめ(1)

へドリル2年解答

氏名

得点

100

各2点

- ① 次の一線部の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。
- 濁流にのまれる。
 - 花を眺めて心を慰める。
 - カーテンで光を遮る。
 - 敵に敢然と立ち向かう。
 - 声に抑揚をつけて話す。
 - ゲンカンの掃除をする。
 - 船が左側に大きくカタムく。
 - ヤクソクを守る。
 - 気温がジョウジョウする。
 - 熱湯をかけてサツキンする。

(6) 玄	(1) だくりゆう
関	(2) なぐさめる
(7) 傾	(3) さえぎる
く	(4) かんぜん
(8) 約	(5) よくよう
束	
(9) 上	
昇	
(10) 殺	
菌	

- ② 次の(1)~(5)は、それぞれ二つの漢字をいくつかの部分に分け、同じ大きさにして並べかえてあります。下の点線で示した部分を参考に組み合わせて、それぞれ熟語を完成させなさい。

(1) 田月包糸 ↓

(2) 衣皮列石 ↓

(3) 敬童言金 ↓

(4) 更貝石化 ↓

(5) 目亡心木女 ↓

(1) 細
(2) 胞
(3) 破
(4) 裂
(5) 警
鐘
(6) 硬
(7) 貨
(8) 妄
(9) 想

- ③ 次の各組から、一線部の漢字の読み方が他と異なるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) ア 進化	イ 化身	ウ 化石	エ 美化	オ 化合
(2) ア 反抗	イ 造反	ウ 背反	エ 反物	オ 反響
(3) ア 貧困	イ 貧弱	ウ 貧乏	エ 貧相	オ 貧寒
(4) ア 強引	イ 強大	ウ 列強	エ 強制	オ 補強
(5) ア 横暴	イ 暴動	ウ 暴言	エ 暴落	オ 暴露
(6) ア 願望	イ 望郷	ウ 人望	エ 眺望	オ 暴露
(7) ア 精進	イ 精密	ウ 精米	エ 精髓	オ 精魂
(8) ア 賦金	イ 賦立	ウ 賦上	エ 賦血	オ 賦身
(9) ア 執筆	イ 執行	ウ 執念	エ 執刀	オ 確執
(10) ア 盛大	イ 隆盛	ウ 盛夏	エ 繁盛	オ 盛況

29 敬語の知識

へドリル2年解答

氏名

得点

100

各1点

57 敬語の知識

① 次の一線部の敬語の読みがなを書きなさい。

- 大きく躍進する。
- 円陣を組む。
- 仕事を継続する。
- 漠然とした思い。
- 粘着テープを使う。
- 感情の高ぶりを抑制する。
- 偉業をたたえる。
- しがたない稼業。
- 惜別の情が残る。
- 余韻が残る。
- 滞貨を一掃する。
- 世界を放浪する。
- 面目躍如たるものがある。
- 外国からの賓客。
- 腹をこわして下痢をする。
- 商魂のたくましさ。
- 植物の繊維。
- 彼は屈託のない男だ。
- 控室で待機する。
- 日本の官僚機構。
- 無謀な試みをする。
- 謙讓の精神を発揮する。
- 拍車がかかる。
- 財閥を解体する。
- 栄華をさかめる。

② 次の一線部を漢字に直しなさい。

- 秘密の情報をニユウシユする。
- 優秀なズノウの持ち主。
- これをやるのはシナンノ業だ。
- 命令をフクシヨウする。
- シレンに耐える。
- キドウを修正する。
- 草木がメブク。
- 掃除当番をカサ。
- 大型の台風がセマる。
- 雑誌をソウカンする。
- ツウカイな事件に拍手する。
- ギャクホンを読む。
- クキョウに立つ。
- コウカな宝石。
- 能力がオトる。
- アマモリがする。
- 体力のゲンカイに挑む。
- キョクチ的な豪雨。
- コウズイで家が流される。
- ジシヤクの針が北を指す。
- ゴウレイをかける。
- ビミョウな心理を読み取る。
- タイメンを傷つける。
- 費用をセツパンする。
- ヒッセキを鑑定する。

- 4 次の漢語の組み立てとして適切なものをそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。〈各1点〉
- (1) 再会 (2) 求人 (3) 地震 (4) 就職 (5) 巧拙 (6) 末席 (7) 跳躍
 (8) 日没 (9) 親友 (10) 握手 (11) 諾否 (12) 御殿 (13) 墳墓 (14) 雷鳴
- ア 似た意味の漢字を組み合わせたもの
 ウ 上の漢字が下の漢字を修飾しているもの
 オ 上の漢字が接頭語的に意味を添えるもの
- カ 下の漢字が上の漢字の目的・対象などを示すもの
 キ 反対の意味の漢字を組み合わせたもの
 ク 上の字と下の字が主語・述語の関係にあるもの

(8)	(1)
カ	ウ
(9)	(2)
ウ	エ
(10)	(3)
エ	カ
(11)	(4)
イ	エ
(12)	(5)
オ	イ
(13)	(6)
ア	ウ
(14)	(7)
カ	ア

- 5 次の各文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直しなさい。〈各1点〉

- (1) ① 病気がカイホウに向かう。(快) ② 病人のカイホウをする。(介) ③ 彼女はカンシンな人だ。(感) ④ カンシンを買う。(会) ⑤ 駅で友だちとアウ。(遭) ⑥ 旅先で盗難にアウ。(遣) ⑦ シンチョウに行動する。(慎) ⑧ 意味シンチョウな発言。(深) ⑨ タイショウから外す。(対) ⑩ タイショウ的な性格。(対) ⑪ 左右タイショウの図形。(対)
- (2) ① 自ら危険をオカす。(冒) ② 他国の主権をオカす。(侵) ③ 一人イサイを放つ。(異) ④ イサイは後日書面で報告します。(委) ⑤ キョウイ的な記録を出す。(驚) ⑥ 敵のキョウイにさらされる。(脅) ⑦ 着物の帯をシめる。(締) ⑧ 両手で首をシめる。(絞) ⑨ 裁判所にイギを申し立てる。(異) ⑩ 参加することにイギがある。(意) ⑪ イギを正して話に聞き入る。(威)

- 6 次の(1)~(3)は類義語を、(4)~(6)は対義語をそれぞれあとから選び、漢字に直して書きなさい。〈各1点〉
- (1) 節約 (2) 薄情 (3) 進歩 (4) 自由 (5) 勤勉 (6) 過激

(1)	儉約	(2)	冷淡	(3)	向上	(4)	束縛	(5)	怠惰	(6)	稳健
ソクバク	ケンヤク	タイダ	コウジョウ	レイタン	オンケン						

- 7 次の言葉の意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。〈各1点〉

- (1) のれんに腕押し (2) 他山の石 (3) かたずを飲む (4) 漁夫の利 (5) 紺屋の白ばかま (6) えびでたいを釣る (7) 枯れ木も山のにぎわい (8) 二の足を踏む (9) つまらないものでも、ないよりはましなこと。 (10) わずかなもと手で大きな利益を得ること。 (11) エしりごみすること。 (12) 他人のことはかり気にして自分がおろそかになること。 (13) 横から第三者が利益を得ること。 (14) 他人の行動を自分を磨くかてとして役立てること。 (15) 息をこらして、成り行きを見守ること。 (16) ク人の行動を自分を磨くかてとして役立てること。

(1)	オ	(2)	ク	(3)	キ	(4)	ウ	(5)	カ	(6)	ア	(7)	イ	(8)	エ
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

- 4 次の各文の場合の敬語の使い方として正しいものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。〈各2点〉
- (1) 先生は、コーヒーを(ア) 飲み (イ) 召し上がり(ア) ますか。
 (2) お客様、そんな無茶を(ア) しては (イ) なさってはいけません。
 (3) (ア) 母 (イ) お母さん(ア) なら、今家におります。
 (4) 私は明日必ず十時に(ア) いらっしやい (イ) おいでなり (ウ) まいり(ア) ます。
 (5) 先生はもう(ア) 見た (イ) ご覧になった (ウ) 拝見した(ア) のですか。
 (6) 両親が、ぜひお会いしたいと(ア) 言って (イ) 言われて (ウ) 申して(ア) りました。

(1)	ウ	(2)	イ	(3)	ア	(4)	ア	(5)	イ	(6)	イ	(7)	ウ	(8)	ア
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

- 5 次の各文のへ～内の言葉を、あとに続くようにそれぞれ正しい敬語表現にかえなさい。〈各2点〉

- (1) 父がよろしくとへ言う(ア) りました。
 (2) この本は、卒業記念に先生からへもら(ア) ったものです。
 (3) 遠慮せずにどうぞへ食(ア) べる(ア) ください。
 (4) 私のほうからへ行(ア) きます。
 (5) お疲れでしょうから、私がかわりにへす(ア) る(ア) ましょう。
 (6) お手紙へ見(ア) ました。みな元気とのこと、ひとまず安心いたしました。

(5)	いたし	(6)	拝見し	(1)	申して	(2)	いただき	(3)	召し上がって	(4)	まいり
								(お食べになって)		(うかがい)	

- 6 次の各文には、敬語表現の誤りが一か所あります。その部分を抜き出し、正しい形に直しなさい。〈各2点〉

- (1) 父兄会には、父がおいでになります。
 (2) 十分に召し上がったので、もう結構です。
 (3) あなたの申したいことはよくわかりました。
 (4) その件なら、私のほうからご説明なさいませう。
 (5) 祖父が大切にしている絵を、いつ拝見されましたか。

(1)	おいでになり	(2)	召し上がっ	(3)	申し
(4)	ご説明なさい	(5)	拝見さ		
	↓ご説明いたし		↓ご覧になら		
					↓おっしゃり